

お弁当の日



お弁当の日は、なぜするの？

- 【目的】
- 1 家庭科の発展学習とする。
 - 2 家庭で親子の会話を多くする。
 - 3 食事を作る楽しさを味わう。
 - 4 作る人の工夫や苦勞を知る。
 - 5 食材の買い物をする事で、食品の流通や物価を知る。
 - 6 友達同士の会話を多くする。
 - 7 食品への関心を高める。
 - 8 小学校や中学校時代に数多く食事の準備などを経験させ、将来一人暮らしをするようになったとき困らないようにする(特に現代の若い人は、コンビニ生活といわれており、健康の害が心配である)。

【対象】 村松小学校 5・6年生

【時期】 月1回 (10月～) 年3～4回
家庭科の調理実習でご飯の炊き方、おかずの作り方を学習する。



ボランティアグループ「まちづくり 笑」主催で、竹下和男先生を講師に「お弁当の日」の講演会が開催されました。大友光男校長が感銘を受け、舟石川小学校校長時代に「お弁当の日」を実践しました。村松小学校では、大友校長が赴任した昨年度より、各家庭と先生方の協力を得て実施しています。

献立考え、食材選び。 おかず見せ合い笑顔で会話。

こどもたちの美味しそうなお弁当に、とても驚きました。それぞれが個性なお弁当ばかりで、見ているだけでも楽しめました。校長先生や担当の先生、担任の先生も美味しそうなお弁当を作っていました。手作りのお弁当を囲んでお友達と過ごす昼食の時間は、とても楽しそうでした。そんなこどもたちの目の輝きを見て、生きる力を感じる事ができました。



こどもたち自慢のお弁当



こどもたちへのインタビュー

お弁当づくりは、どうでしたか？

朝、5時に早起きして全部自分で作りました。

前日に一部仕込みをして、今朝5時ごろ起きて作った。

作ったが冷凍品です。

7割くらい作りました。

ほとんどお母さんが作りました。

自分で作ったので、美味しいです。

味付けがうまくいきました。

卵焼きが上手になりました。

お父さんのお弁当も作りました。

お弁当作りは楽しいです。

お母さんに教わって作りました。

3回目なので上手になりました。

少し寝坊したので、急いで作りました。

全部自分で作りました。

お弁当を作って、料理が好きになりました。

ご飯も上手に炊けました。

料理を作る大変さがわかりました。

バランスよく作れました。

お母さんが作りました。

半分くらい自分で作りました。

初めて買い物に行きました。

お弁当作りの大変さがわかりました。

兄弟の分も一緒に作りました。

すごく大変だったけど、がんばって作りました。

